

- 北海道の自然公園は、箇所数・面積ともに、都道府県の中で最大
- 知床世界自然遺産など、日本を代表し、国際的にも重要な「すぐれた自然」が残されている

自然公園等の指定状況



- 北海道は、知床世界自然遺産をはじめ、美しい自然が四季折々の魅力を有する地
- 豊かな海と大地が育む食材の宝庫であり、我が国の先住民族であるアイヌの方々や、世界文化遺産の縄文遺跡群など、固有の歴史や文化価値も有する北海道はATの適地
- 北海道のATの魅力を経済中に発信するため、ATWS（アドベンチャートラベル・ワールドサミット）を2023年9月に北海道で開催

ATの3要素



アクティビティ

AT

AT

自然

異文化体験

AT

AT



- ・ アクティビティ、自然、異文化体験の3要素のうち、2つ以上を含む旅行形態

ATの5つの体験価値

<p>今までにないユニークな体験 - The Novel and Unique -</p>	<p>その他の場所では味わえない、その地ならではの体験がある</p>
<p>自己変革 - Transformation -</p>	<p>体験を通じて、自己が成長・変化していくことを感じることができる</p>
<p>健康であること - Wellness -</p>	<p>旅行前よりも心身ともに健康になった感覚を得ることができる</p>
<p>挑戦 - Challenge -</p>	<p>身体的・精神的にさまざまな意味合いでの「挑戦」の要素が体験に含まれている</p>
<p>ローインパクト - Impact -</p>	<p>体験にあたって、文化や自然に対してインパクトを最低限に抑えられると感じられる</p>

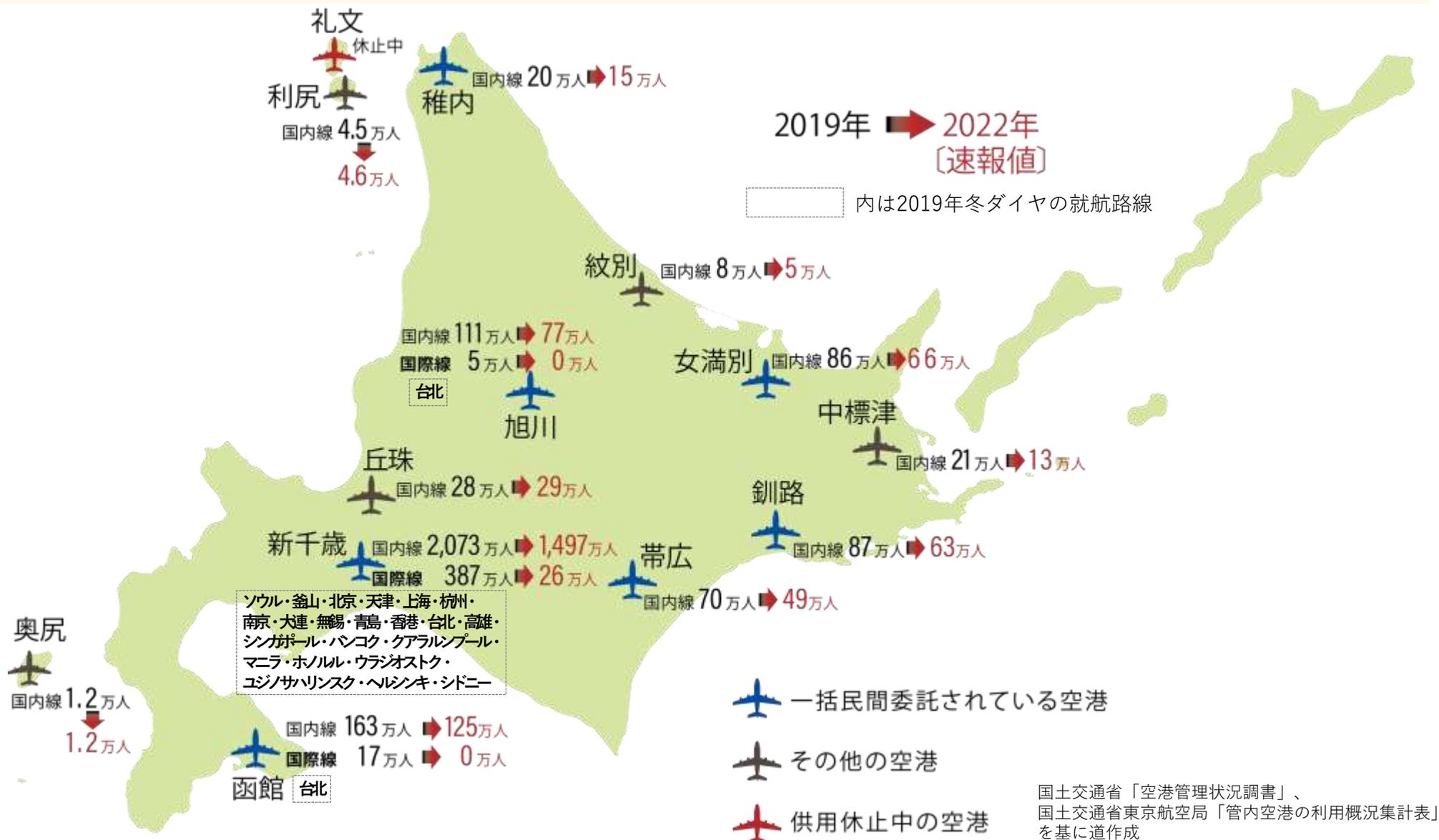
より本質的な理解

アクティビティを通じて自然体験や異文化体験を行い、地域の人々と双方向で触れ合い楽しみながら、その土地の自然と文化をより深く知ることによって自分の内面が変わっていくような旅行形態を指す。

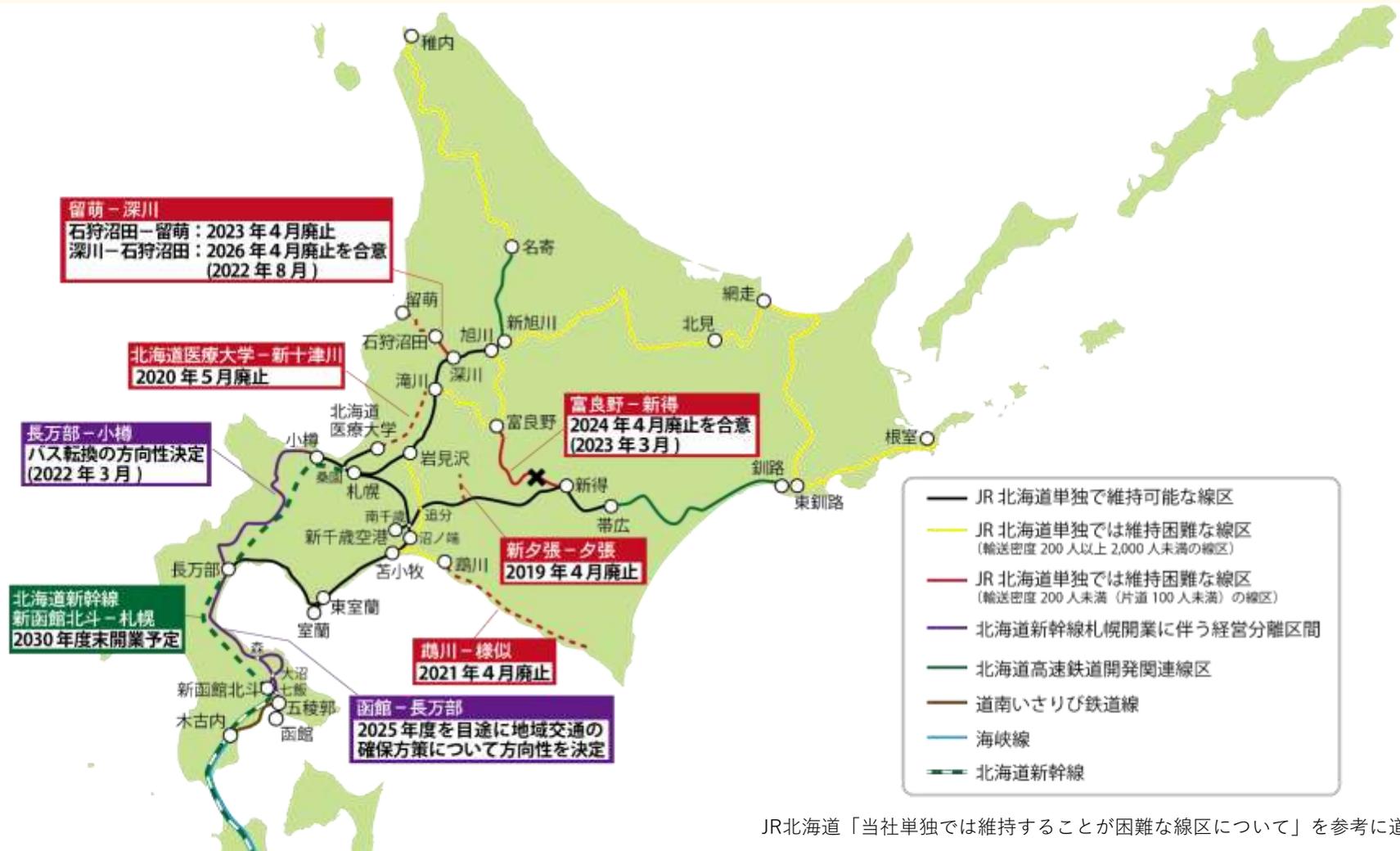
アドベンチャートラベル ≡ アウトドア

▶ アウトドア活動だけでは必ずしもATとはいえない

○ 国際線再開の動きが見られ、更なる航空需要の回復が期待される



- JR北海道単独では維持困難な線区を発表（2016年）
  - ➔ 赤5線区：2026年3月末で全て廃止 黄8線区：2023年度に総括的検証、事業の抜本的な改善方策検討
- 北海道新幹線の札幌開業に伴い経営分離される函館線（函館・小樽間）の地域交通のあり方についても協議が継続



- 本道～道外間の輸送は、海上輸送が約92%(うち自動車(フェリー)輸送が約8%)を占める
- 道内間の輸送は、自動車輸送が約98%を占める
- 本道の物流は、人材不足や災害の激甚化・頻発化に伴う輸送手段の確保などの課題に直面しているほか、ゼロカーボン北海道の実現への対応が求められている

輸送モード別貨物輸送量の割合 (2020年度)

